

大牟田市石炭産業科学館 夏の鉄道展 炭鉱電車と九州の鉄道

宮浦からの旅立ち & 西九州新幹線開業



③ 宮浦ヤードを快走する12号電車 (撮影:青山昌充)

令和5年

7・22^① → 8・27^②

会場

[月曜休館 (祝日の場合は翌平日)]

※ただし8月14(月)は開館

大牟田市石炭産業科学館 1F 企画展示室

<協力>

NPO法人 炭鉱電車保存会、有明工業高等専門学校、大牟田レイルクラブ
九州鉄道記念館
宇都宮照信、栗林陸生、嶋田英典、立川哲也 (敬称略)

観覧料 無料

※別に常設展示室を観覧のときは、観覧料が必要です。
高校生以上 420円 中学生以下 無料(令和5年度のみ)
(土曜日は高校生割引 高校生 260円)
(8月21日は家族で観覧の場合、高校生以上320円)

開館時間

午前9時30分～午後5時 [最終日は午後4時まで]

問合せ

大牟田市石炭産業科学館
〒836-0037 福岡県大牟田市岬町6-23
TEL: 0944-53-2377 FAX: 0944-53-2340
URL: <http://www.sekitan-omuta.jp/>

宮浦からの旅立ち & 西九州新幹線開業

2020年5月7日に運行廃止となった炭鉱電車が、ついに宮浦（大牟田市）から万田坑（荒尾市）へと旅立ちました。そして、万田坑での展示施設が完成し、7月より一般にも公開されています。

今回の展示では、万田坑に移送された2両の炭鉱電車を中心として、運行廃止後の様子をお伝えします。運行廃止後に水害にあってモーターが水没し、動けなくなった炭鉱電車でしたが、残された5両の内の3両が奇跡の復活を遂げました。その後、ラストイベントと動く状態での保存を願って、週2回の維持運転が行われていました。万田坑への移送の様子も含めて、運行廃止後の炭鉱電車と宮浦駅に関連する品々や写真を展示します。

九州の鉄道の話は、「西九州新幹線開業」をメインに取り上げ、長崎本線等の変化も展示します。また、今年度で運行停止となる「SL人吉」の写真展示を行います。



大牟田駅前を運ばれ行く炭鉱電車 撮影池田岳人



西九州新幹線「かもめ」 嬉野温泉～新大村間
撮影大牟田レイルクラブ

主な展示物

- ・炭鉱電車の運行廃止後の写真
- ・宮浦駅名標と電車部品等
- ・絵葉書に見る炭都・三池の鉄道
～宮原坑編
- ・西九州新幹線と長崎本線等の
写真や資料
- ・「SL人吉」の写真

使われていた当時の
宮浦駅名標

① ミニSLがやってくる!

7月29日(土)
7月30日(日)

午前11時～午後3時
※途中1時間休憩あり
石炭館前広場

乗車もできる小型の蒸気機関車が、本物の石炭を燃やして走ります。

② ミニ炭鉱電車がやってくる!

7月29日(土)

午前11時～午後3時
※途中1時間休憩あり
館内 円形ホール

乗車もできるミニ炭鉱電車が走ります。

③ 鉄道模型 (Nゲージ) 走行展示 & 運転体験

観覧・体験無料

7月29日(土)、30日(日)
8月19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)

館内 企画展示室

運転体験: 午前11時～、午後2時～
※8月27日は午前のみ
小学生以上、各回先着20名。
整理券を開始30分前から配布。

走行展示: 午前10時～午後4時
※途中1時間休憩あり、
8月27日は正午まで

④ 鉄道模型 (HOゲージ) 走行展示

観覧無料

8月12日(土)、13日(日)

午前11時～午後3時 ※途中1時間休憩あり。
館内 企画展示室

大迫力の鉄道模型 (HOゲージ・実物の1/80) がところせましと走ります。

大牟田市 石炭産業科学館

〒836-0037
大牟田市岬町6-23
TEL:0944-53-2377
FAX:0944-53-2340
<http://www.sekitan-omuta.jp/>

- 新大牟田駅より タクシー 約20分
- 大牟田駅西口より
徒歩 20分
タクシー 8分
バス イオンモール行 終点下車 徒歩8分
レンタル自転車 10分
※レンタル自転車は駅東口前の観光プラザおよび、
駅西口西鉄大牟田駅で取り扱っています
- 九州自動車道 南関ICより 自動車で約25分
- 長洲港より 自動車で約30分
- 無料駐車場あり(30台)

大牟田市 石炭産業科学館

帝京大学 帝京大学入口
イオンモール大牟田
大牟田C.C. 大牟田駅前公園
至 荒尾・長洲